

# 共感による公共マネジメントパッケージ（概要版）

- ・人口減少や少子高齢化、情報化の進展、ライフスタイルの多様化など、社会経済情勢が変化中、社会課題も複雑化、多様化し、行政に求められる役割が増加しています。

・人口減少が進む中にあっても地域力を高めるべく、第3次総合計画では、あらためて「公共」のあり方について見直しを進めることとし、「共感による参加型社会」（＝「これからの公共」）づくりの必要性を示しました。

・行政経営資源(ひと・もの・かね)が減少する中、未来の世代にとっても、より良い社会を形成していくためには、さらなる行政経営改革に取り組み、限りある経営資源を有効活用し、時代の変化に対応した公共サービスを生み出し、提供していく必要があります。
- ・本パッケージは、本市が抱える問題と取り組む課題を整理し、目指す行政経営改革の基本方針を示す「行政経営改革を進めるための考え方」と、事務事業を効率的、効果的に展開するための支援ツールとなる「4つのガイドライン」をまとめたものとなります。

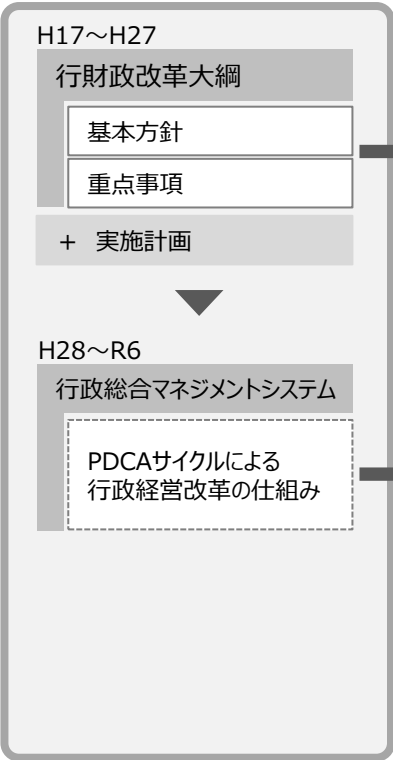
基本方針

・共感による参加型社会が構築された、持続可能なまちをつくる。

・限りある経営資源を有効活用し、時代の変化に対応した公共サービスを提供する。

これまでの大綱との違い(本パッケージの特徴)

## ■これまで



## ■これから（R7～）

